



【会派 NEWS】 2019(令和元)年 10月 31日号 週刊 Vol.36
ご意見ご要望はお気軽に 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

投手交代！ 愛する小金井を守るために 「みんなの市長をつくる会こがねい」が発足

4年に一度の市長選が、12月1日告示・8日投票の予定で行われます。10月27日には、「みんなの市長をつくる会こがねい(みんなの会)」が発足しました。私も役員の一になりました。

「みんなの会」は、現職市長でも、自公系新人でもない「第三の候補」を擁立すべきだと考える市民と超党派の議員が話し合い、立ち上げた会です。

なぜ、「第三の候補」が必要か、私なりに、いくつかの理由を述べさせていただきます。

理由①

都道2路線新設計画に反対し、はけと野川の環境を守る候補が必要

小金井市の地形上の特徴は、河岸段丘(「はけ」と呼ばれる)で坂上地区と坂下地区に分かれている点にあります。はけの湧水は「小金井」の地名の由来とされ、都心から電車で20分程度とは思えないほどの貴重なグリーンベルトを形成しています。また、「はけ」の南側を東西に流れる野川は、先人の努力で清流が復活し、貴重な生態系を育んでいます。

しかし、東京都は、「はけ」や野川の環境に深刻な影響を与える都道新設計画(3・4・1号線、3・4・11号線)を強行しようとしています。貴重な緑が失われ、都市景観も住環境も「激変」となります。

道路には「必要な道路」と「有害な道路」がありますが、この2路線は、「有害な道路」の典型です。

西岡市長は、この問題を巡っては、発言と対応がブレ続けており、まったく信用できません。結局、西岡市長にとっては、「はけ」や野川を守ることが大事なのではなく、自分自身の「保身」が大事なことだと思えます。なので、自分の政策は語らず、場当たりの対応を繰り返しているのです。市長が場当たりの対応を繰り返したことが、東京都の推進姿勢を強化して

おり、市長の責任は重大です。

一方、自民党は、この計画は推進の立場であり、そもそも論外です。

今回の市長選の最大の争点は、この都道2路線新設問題にあると言っても過言ではありません。なぜなら、ここで市長を選び間違えると、一気に計画が強行される可能性が高まるからです。計画にきつぱりと反対の姿勢を示し、東京都に計画撤回を強く求めていく新しい市長がどうしても必要です。

「小金井の危機」です。党派の違いを超えて、お互いに力を合わせましょう。

理由②

庁舎・福祉会館建設に際して、きちんとした「広場(公園)」をつくる候補が必要

現在、市は庁舎及び福祉会館の基本設計作業をおこなっています。特に大きな問題になっているのは、「広場(公園)」の規模をどうするかです。

現在、庁舎建設予定地(ジャノメシン工場跡地)の東半分は公園(約3000~4000㎡)として多くの市民に使われています。保育園の子どもたちが大勢で元気に遊んでいますし、時には運動会も開かれています。小学生は放課後や休日にサッカーや草野球を楽しんでいます。お年寄りの方々はゲートボールを楽しんでいます。親子でシートを敷いてお弁当を食べている光景もよく見かけます。防災訓練を兼ねた町会行事も開催されています。

ところが、西岡市長は、敷地の大半を駐車場や道路で埋め尽くし、「広場」とは名ばかりで、まるで「すきま」のようなスペースだけを設置する計画を強行しようとしています。市の担当も「これまでのような使い方はできなくなります」と説明しています。

これまでの調査で、現在と同程度の広場(公園)を

確保することは可能であることが判明しています。

つまり、きちんとした広場(公園)を整備するという考えを持った新しい市長が誕生すれば、確保ができるということです。

市議会では、西岡市長の与党も、野党である自民党も、きちんとした広場(公園)の確保を求める陳情書に反対。市民の願いに背を向けています。

ここで市長を選び間違えると、きちんとした広場(公園)がない、駐車場と道路だらけの庁舎となってしまう、多くの子どもたちが伸び伸びと遊べるスペースが半永久的に消え去ることになります。

本年度は基本設計、来年度は実施設計です。ここが正念場となります。

この危機を突破できる新市長を

他にも多くの理由があり、今後順次書いていこうと思いますが、私としては、上記2つのテーマは、緊急性と重要性が非常に高いと考えており、この2点で政策が一致する人、この危機を突破できる力量のある人、を市長選で応援したいと考えております。

「みんなの会」は、上記2つのテーマを共有できる市民と議員の会です。以下が会則です。ぜひご入会をご検討ください(ご一報いただければ入会申込書などを持参いたします)。

みんなの市長をつくる会 **こがねい** **会則**

1 (目的) 小金井市民が力を合わせ、市民のための市政を推進する新しい小金井市長を誕生させるために活動します。

2 (名称及び所在) 名称は「みんなの市長をつくる会こがねい(以下「会」と呼びます)」とします。会の略称は「みんなの会」とします。会の所在地は小金井市東町5-14-10とします。

3 (組織) 会の政策に賛同する個人、団体をもって構成します。

4 (活動) 会は市長候補支援を行うとともに、学習会、集会等を開催します。

5 (運営) 会の運営は、会員相互の基本的合意に基づいて進めます。ただし、会員それぞれの自主的な活動は尊重します。

6 (役員)

① 会には、共同代表、世話人、事務局、会計責任者を置き、日常的な運営に当たります。

② 会の役員会は共同代表が招集します。また、世話人の3分の1以上の求めに応じて、役員会を開催することができます。

③ 会には、会計監査を置きます。

7 (総会)

① 会は役員会の決定によって総会を開き、活動方針などを話し合います。

② 総会の議事は過半数の同意によって決定します。

8 (財政)

① 会の財政は、年会費、分担金、寄附金によって賄います。

② 個人の年会費は1口1000円とします。分担金は役員会の承認を経て決定します。

9 (委任) その他必要な事項については、役員会で協議し、決定します。

付則 本会則は、2019年10月27日に発効します。

議員定数削減条例案、採決見送り

情報公開こがねい、自民党信頼、公明党の3会派共同で提出した「小金井市議会の議員定数を2減(24⇒22)する条例案」は、10月29日の議会運営委員会で審査されましたが採決には至りませんでした。11月の同委員会で再度議題になります。

「ツイッター活用」全会派が賛同

私が座長を務めている市議会広報協議会は、10月30日、市議会としてツイッターを活用した情報発信を行うかどうか協議しました。先進市議会では活用していますが、小金井市議会は未着手でした。

協議の結果、全会派が活用に賛成し、来年の一定時期から運用を始めることが決まりました。

私が案を作成した「ツイッター運用ルール」に関して、全会派の賛同を得ることができました。

議会の情報公開という意味で一歩前進になると思います。ご期待ください。

活動資金カンパのお願い

みずほ銀行 小金井支店 普通 1414875

口座名 情報公開こがねい

(お振込み後、お名前とご住所をお知らせください。領収証をお送りします/外国籍の方はカンパができませんのでご注意ください)

渡辺大三 **プロフィール**

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補し、当選)。「脱ムダ改革」を掲げ、高額人件費問題など小金井市政のムダ遣いや不正、癒着、天下りを厳しくチェック。

現在=小金井の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」(代表=上田令子都議会議員)幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。
公式サイト www.daizou.org